

北海道教育委員会教育長 様

北海道利尻高等学校長 小林 洋 介

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 重点目標

<p>知性・人間性・健全な心身のバランスのとれた生徒の育成</p> <p>(1) 主体的・対話的で深い学びに向けた指導・支援の推進</p> <p>(2) 多様性を認め自他を尊重する豊かな指導・支援の推進</p> <p>(3) 自己の将来を見つめ、自己実現を目指す指導・支援の推進</p> <p>(4) 健康や安全、命の大切さを自覚する指導・支援の推進</p> <p>(5) 地域の教育資源及び各学科の特色を活かした教育活動の充実</p> <p>(6) 学校教育目標・学校経営目標等の共通理解に基づく協働体制の構築</p> <p>(7) 学校課題や自己課題等を踏まえた教員の資質の向上</p>
---

2 自己評価・学校関係者評価の概要

評価項目	自己評価及び改善方策等	学校関係者の評価及び意見、要望、改善方策等
主体的・対話的で深い学びに向けた指導・支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業公開週間や研究授業、校内研修等を通し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた意識をより一層高めていく必要がある。</li> <li>・学力上位層生徒を意識した講習や習熟度別学習などの研究等を次年度も継続して行う。</li> <li>・商業科を中心に検定試験の積極的な受験により学習意欲が喚起されている。</li> </ul>	特になし
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業公開週間や研究授業、校内研修等を積極的に活用し、教職員全体で「授業の工夫・改善」を図ることができた。次年度も継続して取り組む。</li> <li>・今後も生徒の特性や能力、課題などを把握したうえで、主体的・対話的で深い学びの視点からの学習指導、及び単元指導計画に基づく観点別学習状況の評価の充実を図る。</li> <li>・タブレットの活用を充実させ、画像や動画を授業の資料として効果的に利用し、わかりやすい授業を展開できるよう改善していく。</li> <li>・基礎的かつ基本的な知識や技能の習得に重点を置きつつ、思考力、判断力、表現力などを向上させられるよう取り組んでいく。</li> </ul>	
多様性を認め自他を尊重する指導・支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学の模擬授業及び外部講師による講演会の実施やZOOMを活用した研修会に積極的に参加することができた。</li> <li>・欠席が増加傾向がある生徒に対して、継続的に組織的に対応することができた。</li> </ul>	・特になし
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会の報告など、ICTを活用した情報・資料の共有方法等について工夫、改善を図る。</li> <li>・スクールカウンセラーのカウンセリングにより、生徒の心情や困り感を共有することができた。次年度も継続して積極的に活用し、生徒の情報収集と共有に取り組む。</li> </ul>	
自己の将来を見つめ、自己実現を目指す指導・支援の	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒への進路指導をより充実させるためには教職員全体で共通理解を図る。</li> <li>・就職、進学指導に関わる一連の流れについて、生徒のみならず、教員をしっかりと把握しておくことが必要。</li> <li>・学年に応じた適切な保護者との意思疎通</li> </ul>	・生徒への対応を丁寧に行っていることが結果として出ている。

推進 改善 方策	や連携を図る手立てを継続していく。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の興味関心、進路希望などのデータを継続的に収集し、生徒一人ひとりの個別ニーズに対応できるよう取り組む。</li> <li>キャリア教育を一過性の取組とせず、PDCAサイクルを意識した継続的な取組となるよう、全体の取組の位置づけや運営方法の見直しを図る。</li> <li>公営塾との情報交換をより強化し、連携しながら取り組む。</li> </ul>	
健康や安全、命の大切さを自覚する指導・支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いのちの大切さをテーマとした「いのちの教室」を外部講師を招いて開催した。</li> <li>一日防災教室を実施した。</li> <li>スクールカウンセラーによる対人関係やコミュニケーションスキル向上のための講演を実施した。</li> </ul>	・特になし
改善 方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いのちの教室」を次年度以降も継続して取り組む。</li> <li>一日防災教室（防災訓練や防災講話）、全校生徒面談を通し、生徒の健康安全の意識を高めることができた。次年度も継続して取り組む。</li> </ul>	
地域の資源及び各学年の特色を活かした教育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>利尻山登山や全島一周等を地域資源を活用して実施することができた。また、コーディネーター等に支援していただきながら安全面の体制を整えることができた。</li> <li>商業科による販売実習会を島内外で実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと教育の充実が高校魅力化に繋がっている。</li> <li>島内の中学生が利尻高校へ進学したいと思うような魅力ある学校作りをお願いしたい。</li> </ul>
改善 方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の観光資源のバスツアーや商業科が取り組む「利高商業フェア」や進路指導部が主催する「企業勉強会」等、地域資源を活用した教育活動を推進することができた。次年度も引き続き、地域の協力を得ながら教育活動に取り組む。</li> <li>学校HPやSNS等を通し、生徒の様子や学校の取組を発信し、教育活動の理解に努めた。次年度も引き続き、教育活動の情報を提供していく。</li> </ul>	
学校教育目標・学校経営目標等の共通理解に基づく協働体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>効率的な時間管理と仕事の優先順位付けなど、個別面談を通して、業務の効率化を図るなど業務の整理を進めていくことが必要である。</li> <li>月2回定時退勤日を設定している。</li> <li>校内研修会を6回実施し、次年度以降の組織体制や学校教育目標の見直しを行った。</li> </ul>	・組織運営の課題解決に向けての校内研修を実施するなど、事業継続の体制づくりに期待している。
改善 方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>各行事や分掌業務について、その都度、反省・見直すなど、業務の平準化や分掌・学年・委員会等における業務内容の精選に努める。</li> </ul>	
学校課題や自己課題等を踏まえた教育の資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中高12年間の連続的・継続的な指導や支援を行うための基盤づくりのため、島内学校と連携を深めた。</li> </ul>	・特になし
改善 方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種研修への積極的な参加、活用を促し、教員の資質能力の向上に努める。</li> <li>外部講師の研修会を積極的に実施する。</li> </ul>	

添付資料

- 1) 令和6年度学校意識調査（生徒・保護者・教職員）
- 2) 令和6年度学校評価（自己評価）
- 3) 令和6年度学校評価（保護者）
- 4) 令和6年度授業評価アンケート集計概要
- 5) 令和6年度学校評価（学校関係者）